

あなたの心にジャストミート 2月24日メッセージ 神の主権の中に（創45:1-5）

現場で人々は、自分が熱心にすればどうにかなる、お金さえあれば幸せだ、肉的に成功すれば幸せだと必死になっています。その目的を果たすために、偶像をおがむようになり、宗教、占いに走るしかありません。それゆえ、もっと悪霊に操られ、崩れて行くのですが、それを知らずにいます。幸せになりたいと願いますが、靈的問題、心の問題、精神問題を患い、肉的にも病気になり、人生のバランスが壊れ、その状態のまま死に、死後はさばかれる運命に捕えられています。それがそのまま子孫に受け継がれて行くのです。そのような現場には、キリストしか答えがありません。私たちは、イエスのいのちを持っているので、その現場に福音の光を放つ現場灯台として召されています。サタンは、現場で光を放てないようにさせるために、攻撃してきます。その攻撃が苦難のかたちでやってくることが多いのです。



その代表的なケースがヨセフです。ヨセフの人生ストーリーを通して、「**契約の人、神の契約の民は、絶対に滅びることはない**」という契約を握りましょう。苦難や攻撃は、当然ありますが、契約の民には、それは問題にならないのです。ヨセフは、家庭でいじめられ、売られてしまい、自由はまったくなく、孤独で、未来の希望もない奴隸生活をするようになりました。それで苦難が終わるのではなく、犯罪者扱いされて、終身刑を受けました。完全に絶望状態です。そこで政治家を助けたのですが、その政治家に「私のことを思い出してください」と言ったのに、政治家は、ヨセフのことを完全に忘れてしまいました。そのような苦難の連続でしたが、30歳のときに大逆転で総理になります。このようなヨセフを通して「契約の人、契約の人はなにがあっても、決して滅びることはない」ということ、それゆえ、「**契約の人の人生は、どんなかたちでもすべては契約の旅程で、神様が許されたこと**」だと知りましょう。苦難、サタンの攻撃が契約をまとうされる神様の主権を超えることはありません。契約にまさる苦難、苦しみ、失敗は存在しないのです。

パウロの手紙を見ても、契約の民の人生は、危険、死、飢え、苦難などがあるのですが、圧倒的な勝利者になると、契約の旅程であることを書いています(ローマ8:35-37)。それだけではなく、すべてを働かせて益となるのです(ローマ8:28)。きょうの聖書箇所のヨセフの告白も、神様の主権を語っています。どんなことも、神様が救いをまとうされることを超えることはできません。悪事ですら、

神様の主権をまとうする道具にすぎないのです。これが、契約の民のプライドであり、信仰告白で、大胆な力です。どんな苦難でも滅びません。人生のすべて、自分の失敗であれ、人々の惡意でも、サタンの働きでも、すべては契約の旅程で、益となります。死ぬことすら益となります(ピリピ1:21)。恵みの世界に導き入れられています(ローマ5:2)。つぶやかず、落胆せず、倒れず、神様の栄光を大いに喜んで、賛美できるのが契約の旅程です。そのような神様の栄光を大いに喜び、栄光が現れることを望むことが祈りであり、神の国です。自分の人生が契約の旅程であることがわかるなら、強くなります。

それなら、信者にとって大切なテーマは、うまくいくかどうか、良いか悪いか、苦難か安全かではなく、「**契約**です。**どれほど契約にかたく立っているかがポイントです**」。どんなことも神様の主権は超えることができず、契約をまとうすることに用いられるからです。どんな苦難がきても契約をしっかりと握りましょう。それが勝利の鍵です。

契約とは、なんでしょうか。イエスはキリストということです。イエスによってのみ、人生の問題が解決し、すべての問題が終わって、永遠のいのちが与えられます。神様の恵みによって、イエス

をキリストとして信じ、受け入れた神の子どもには、永遠のいのちの完璧な祝福が与えられています。信じたとたんに、永遠のいのちが与えられるので、現場灯台として、いのちの運動を行えるのです。信者は自分を通して神様がしようと思っておられることがなされる存在になっています。これが契約です。神の教会として召されているので、神様がなさること、つまり、地の果てまでイエスの証人となり、世界福音化して、1000万の弟子が立てられることを、自分の契約とすることができます。のために237か国の福音の門が開かれます。のために日本に住んでいるので、日本の47都道府県に福音の種をまいて、火をつける靈的戦いをして、絶対弟子を立てられる神様の働きを見るのです。福音、祈り、使命が通じる絶対弟子を通して、全国に靈的なネットワークが作られます。そのため、開拓教会が必要で、その鍵が牧師です。ですから、**日本国内に宣教師を派遣**して、弟子運動、いのちの運動をしていくのです。これを自分の契約として、教会の契約としましょう。日本国内に宣教師派遣のために、自分が派遣される牧師として献身するか、牧師を経済的にサポートするか、2つの道があります。この契約を握り、契約で一致して祈り、証拠があらわれることを体験しましょう。教会の中に弟子運動が起き、いのちの運動が起き、いやしの運動によって時代の証人となり、レムナントに福音が刻印される運動が起き、福音が継承されるように祈りましょう。教会を大切にして、契約をもって考え、解釈していきましょう。

(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

創世記45:1-5 神の主権

なるほど/信者は、現場灯台として召された福音の人間に間違いないので、サタンは信者を攻撃して諦めさせようとする。しかし、どんな試練も神の主権を超えたままで、契約を超えることができないので、契約の民は決して滅びることなく、契約の民の人生は契約の旅程である。

ならば/信者にとって苦難や困難が問題ではなく、どれほど契約に固く立つかが鍵となることを認識して契約にオールインしよう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文(2019年2月24日)

1部礼拝： 空前絶後の挑戦(ヨシ10:10-14)

私が何をすべきなのかではなく、まず私にあることを確実に見て、錯覚から逃れて契約に従うようにしてくださり感謝します。福音を持った私とこの教会のために、神様が備えられた空前絶後の答えを確信して、その危機の中に入りますように。福音を持った私とこの教会が空前絶後の存在であることを知って、危機の前で空前絶後の挑戦をしますように。神様の契約、主の御名と主の力を得る決断の中で、家庭と家系、信徒と教会、世の中を生かすように、空前絶後の答えを与えてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2部礼拝： のがれの町を建築しなさい(ヨシ20:1-9)

今もみことばと救いと力で働いておられる三位一体神様の奥義、身分、権威を持って、正確なみことばを握って、天と地の権威を味わうようにしてくださり感謝します。私たちの教会がただ福音、完全福音、純粋福音だけを伝えて、237カ国を生かすのがれの町を建築しますように。契約を正しく握って、237カ国を靈的癒し、心の癒し、肉体の癒しをする迷れ町を建築しますように。237カ国をレムナントたちが福音、祈りの中で62の人生を味わいながら、7タラント、7現場、7地獄現場、5未来を準備して生かしますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。